

重要な環境変化とFFGの対応

長期戦略の検討にあたり、今後想定されるさまざまな環境変化の中から、そのドライバーとなる重要な変化について、役員間で議論を行いました。

そこから、環境変化のドライバーが顧客セグメントごとに与える影響を分析し、地域とFFGにもたらす「リスク」と「機会」に分けて整理を行いました。

その上で、地域にもたらす「リスク」の中で、FFGが創りたい社会の実現に向けて、能動的に解決に取り組む課題を「マテリアリティ」と位置づけ、FFGに及ぶ「リスク」の中で、経営上特に注視すべきリスクを「トップリスク」に設定しています。

また、「マテリアリティ」の解決に向けた取組みをFFGにとってのビジネス機会と捉え、長期戦略の基本方針と重点取組を決定しました。

長期戦略を実行することが、マテリアリティの解決とトップリスクへの対応となり、その先に、FFGが創りたい社会の実現につながる、一連の価値創造ストーリーとなっています。

マテリアリティの決定プロセス

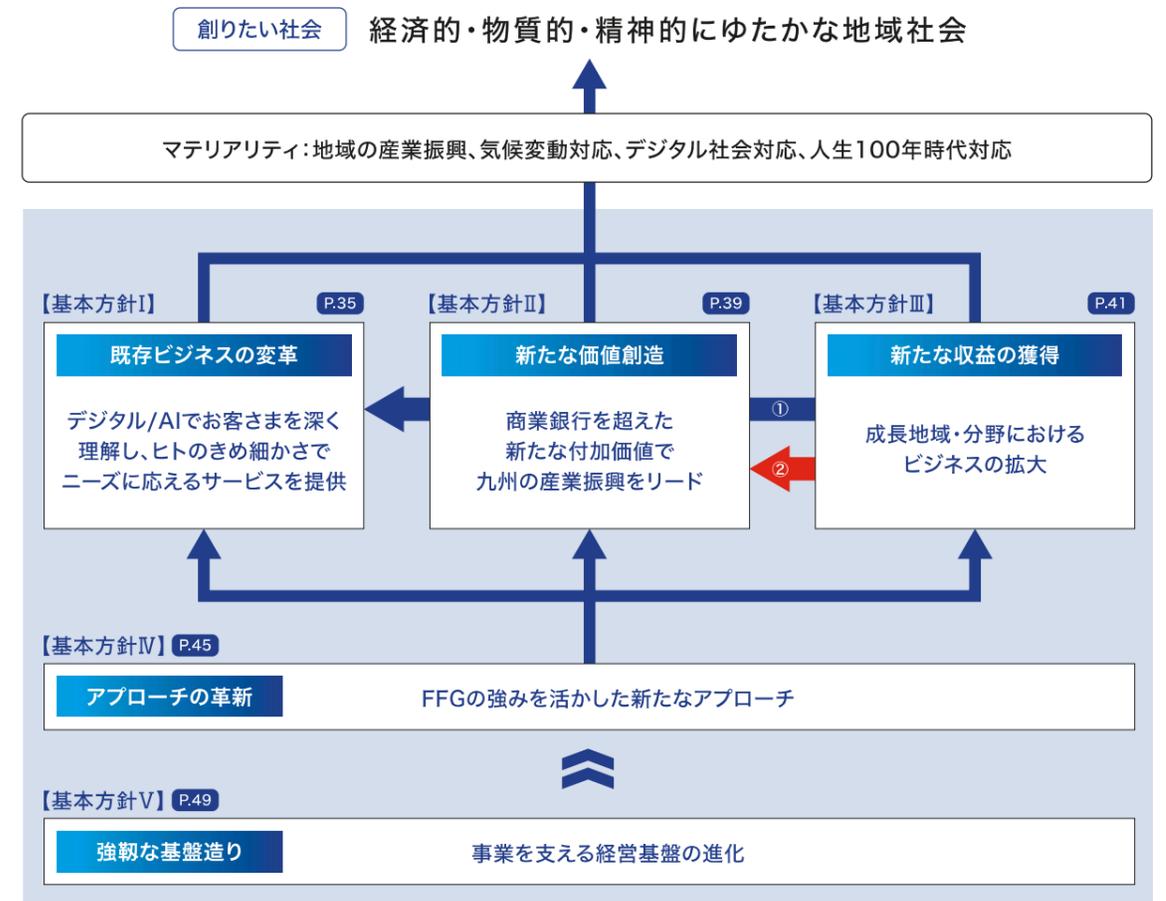


地域とFFGのリスクと機会

環境変化のドライバー	地域		FFG	
	リスク(マテリアリティ)	リスク(トップリスク) 詳細P99	機会(事業戦略)	
人口動態の変化	地域経済の縮小 ⇒地域の産業振興 高齢社会 ⇒人生100年時代への対応	地域経済の縮小による顧客基盤の縮小 ⇒人財不足による持続的成長の停滞 ⇒顧客基盤の縮小	事業承継・産業再編ニーズの拡大 生産性向上への投資増加 資産形成ニーズの拡大	
サステナビリティへの関心の高まり	基幹産業の海外移転による産業の空洞化、地域企業のトランジション遅れ ⇒気候変動への対応	基幹産業の海外移転による産業の空洞化、地域企業のトランジションの遅れによる顧客基盤縮小 ⇒気候変動に関するリスク	GX投資・支援ニーズの拡大	
急激な市場環境の変化	市場変動への対応の遅れによる地域企業の業績悪化 ⇒地域の産業振興(を通じた地域企業の強靱化)	急激な市場変動に伴う、資金収益の減少、債券評価損の拡大、預金流出 ⇒国内外の金融市場の不安定化 ⇒国内外の流動性リスク	市場環境の好転による資金収益の拡大、債券評価益の拡大 投資の多様化・高度化	
産業振興	国策による成長支援に乗り遅れ、地域産業が衰退 ⇒地域の産業振興		GX投資・支援ニーズの拡大 スタートアップ支援ニーズの拡大 各種設備投資の増加	
生成AIや新たな金融技術	地域企業のデジタル化の遅れ システム障害・サイバー攻撃 ⇒デジタル社会への対応	デジタル社会の急速な進展に伴う競争力の低下 システム障害・サイバー攻撃	デジタル/AIを活用した、生産性向上、新たなサービス提供	
地政学リスクの上昇	国際社会分断による世界経済の低迷	国際社会の分断による事業前提の変化 ⇒社会環境の前提を変え得る外的リスク(地政学・自然災害等)		

長期戦略の全体像

マテリアリティを解決し、FFGが創りたい社会を実現するため、長期戦略に以下5つの基本方針を定めました。
I. 既存ビジネスの変革、II. 新たな価値創造、III. 新たな収益の獲得、IV. アプローチの革新、V. 強靱な基盤造り
これらの基本方針に基づき、長期戦略および、具体的なアクションを実行してまいります。



わたしたちの価値観 あなたのいちばんに。

FFGの存在意義 一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。

長期戦略を実行するための原動力となるのは、「FFGの理念体系」に定めたわたしたちの価値観である「あなたのいちばんに。」とFFGの存在意義である「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」です。この二つは互いに補い合い、「創りたい社会」への原動力となります。

【基本方針I,II,IIIの相互補完・相乗効果 ← ①②】

- ①みんなの銀行が持つシステム・サービスの開発能力、BaaS連携のノウハウ等を活用することで、FFGのリアル銀行のサービスを高度化し、取引先との関係を強固にすることで、競合との差別化を実現
- ②首都圏や海外、資本性ビジネスなどの成長が期待できる地域・分野におけるビジネス拡大を通じて得たノウハウを地域企業に提供することで、他社には無い新たな付加価値を提供